

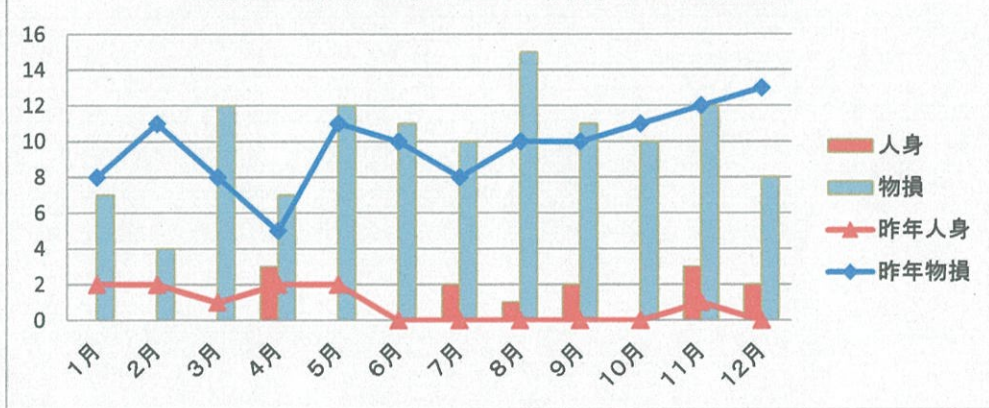
和生が当事者となる交通事故件数

10月単月		本年累計		昨年同期		増減率	
人身	物損	人身	物損	人身	物件	人身	物件
0	10	8	99	9	92	-11.1%	7.6%

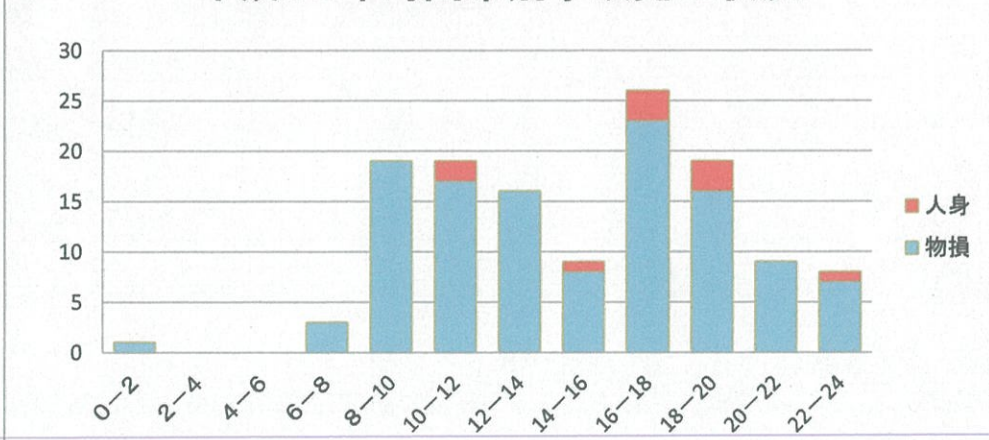
和生が当事者となる交通事故の主な概要

事故態様(10月) 赤字が和生			
二輪×車	交差点を右折する際、対向から左折してきた車と衝突	原付単独	雨天時、交差点付近にてブレーキ操作を誤り転倒
車×車	坂道発進した際、クラッチ操作を誤り後退し、後方の車に衝突	原付×車	雨天時、信号待ち中の車に追突
原付×車	駐車場内通路にて一時停止した車に追突	車×車	県道を直進走行中、左方店舗駐車場から道路に進出してきた車と衝突
原付単独	雨天時、交差点を右折する際、ブレーキ操作を誤り転倒	車単独	駐車場にて車を後退させた際、左方のポールに衝突
原付単独	雨天時、赤信号により停止する際、ブレーキ操作を誤り転倒	自転車×自転車	狭路を走行中、対向から走行してきた自転車と衝突

平成30年中の和生が関係する交通事故



平成30年時間帯別事故発生状況



<和歌山北警察署より>

10月中は、物損事故が10件で、先月に比べ1件でした。
 発生した事故の多くは二輪によるもので、特に雨天時のスリップによる転倒が多く見られました。
 雨天時の原付等の二輪運転では、急なブレーキ操作はスリップに繋がるため特に注意が必要ですが、横断歩道や停止線などの道路に標示されている白線も、雨天時は滑りやすくなっているので注意が必要です。
 また、原付運転者に多く見られるハーフのヘルメットは、フルフェイスヘルメットと違い、ライナーと呼ばれる目を保護する器具がついていない物が多く、雨天時、目に雨がため、視野が下向きになり、前方の危険に気付くのが遅れ事故になるケースがあります。
 これから冬にかけ、降雪や路面凍結が発生するため、原付などを運転する際は、無理な運転はしないようにするとともに、天候や気温、路面状況によっては二輪による外出を控えるようにしましょう。